

# 江本浩二氏

## 1. 立候補を決めた理由を教えてください

人口減少がどこのまちより進んでいる状況で、頼重市長は強制収用までして鉄道高架事業を強引に進めてしまった。沼津市は今とても危険な状況であり、議員をやめることはできません。沼津市の未来を諦めることになるからです。16年前に議員となった時の初心「子どもたちが望む良いまちにする」ために、今、何をしなければいけないのかを皆さんとともに考え、訴え続けるためです。

## 2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

人口減少、少子高齢化と考えます。社人研の人口推計は2030年は16万7千人。2040年は14万5千人で高齢者は約半数の6万人、14歳以下の子どもは1割以下の約1万1千人です。居住環境の維持や労働力の確保が困難になり地域経済の縮小と税収の減少は免れません。沼津市が活力を維持するためには人口減少を抑制することが最大の課題。市長、議員、市民全員が自分ごととして考え、話し合うことが問題解決の第一歩。

## 3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

考えられません。鉄道高架事業の完了時期は早くても2046年。その時の市借金残高は一般会計だけでも今より100億円以上増えて約800億円。事業完了後の公債費（ローン返済）は約20億円も増の約90億円。はるかに少なくなる納税者がこれを返済しなければならなくなります。たとえば借金の返済のために日々の生活費にも不自由するローン地獄が待っています。人口減少対策、再生策を今すぐに講じなければなりません。

## 4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

今の1.41が2040年に2.07になることなど到底あり得ない。市が考える出生率は「超楽天的な希望数値」としか言いようがない。「沼津駅周辺総合整備事業によって人口減少に歯止めをかけ民間投資を促進する」などという幻想は直ちに改めてもらいたい。今、沼津市がやらなければならないのは『子どもファースト』で政策投資をここに集中すること。子育て政策の充実で人口を増やしている自治体は日本全国にたくさんあります。